

## ＝ 目 次 ＝

特 集 新しい村づくりのために

## ■熊本県の農業構造改善事業は どう進められているか ..... 10

- |                     |    |
|---------------------|----|
| □企業的農業経営に挑む         | 14 |
| □農業構造改善と土地基盤整備      | 15 |
| □新養蚕地帯のめばえ          | 16 |
| □進む果樹産地の近代化         | 28 |
| □野菜の経営改善へ           | 30 |
| □大型草地酪農への夢も         | 32 |
| □生産拡大で農業所得の増大へ(米部門) | 36 |

論說

## 熊本県農業のビジョン

都留大治郎 ..... 26

☆新しい農業者が育っている ..... 34

化 术

1. 城南町ふたば会
  2. 天明村若竹会
  3. 小川町の生活改善グループ

■已知和未知，一目了然，一清二楚

★すいそう★

田代 順七・光恒安津子・倉林喜一郎  
竹田 斎

★グラビアページ

特集三生まれかわる農村・新産業風土記ほか

★センターカラー



上、「ミルクの濃度はこうやって……」組合の作業場で。



上・組合員の家畜の様子を調べるMさん。



上・近代酪農は機械にも強くならねば…  
今日はトラクターの実習。

しかし、本格的に酪農經營をはじめたのは指定を受けてからだつたというだけに、飼料の生産から乳牛の管理まで、九人のメンバーの苦心はもちろん、指導に当る普及員の努力も大きかった。大型機械の技術修得には、普及員も地区の人たちと一緒に勉強しあつた。去年の干ばつ時には、暑さから牛を守るために送風機の設置に、あるいは畜舎改善の設計指導にとM普及員は駆けまわつた。

「兄弟と同じですたい。」というメンバーの人たちのことばかりも、九人の人たちと普及員のつながりの強さがうかがえる。

大型機械で省力された労力は牛の管理へ…三十六年度にくらべ、現在の飼養頭数は四倍近い百五頭に、そして成牛一頭当たりの年間乳量も平均五千三百キロと一千キロ近い増加をみている。

今後は更に経営技術に磨きを…これからも九人の仲間同志の、そして普及員を囲んでの勉強は続していくことだろう。

しかし、本格的に酪農經營をはじめたのは指定を受けてからだつたというだけに、飼料の生産から乳牛の管理まで、九人のメンバーの苦心はもちろん、指導に当る普及員の努力も大きかった。大型機械の技術修得には、普及員も地区の人たちと一緒に勉強しあつた。去年の干ばつ時には、暑さから牛を守るために送風機の設置に、あるいは畜舎改善の設計指導にとM普及員は駆けまわつた。

「兄弟と同じですたい。」というメンバーの人たちのことばかりも、九人の人たちと普及員のつながりの強さがうかがえる。

大型機械で省力された労力は牛の管理へ…三十六年度にくらべ、現在の飼養頭数は四倍近い百五頭に、そして成牛一頭当たりの年間乳量も平均五千三百キロと一千キロ近い増加をみている。

今後は更に経営技術に磨きを…これからも九人の仲間同志の、そして普及員を囲んでの勉強は続していくことだろう。

菊池郡泗水町大字吉富（富原）。大型機械を利用した畠地酪農のモデルとして、県内外はもとより、東南アジアなど海外からの視察も多い。しかし、これまでには富原酪農組合の九人のメンバーと普及員が手をとりあっての努力があった。

昭和三十六年度、泗水町は国の機械化実験集落事業の指定をうけた。農家が実際に生産していく場で、大型機械に適応した農法を総合的に検討し、解明しようという狙いをもつてこの事業の中で、富原集落は目標を酪農経営の確立においていた。

しかし、本格的に酪農經營をはじめたのは、指定期を受けてから二年ほど、うごけに、同斗

## 畠地酪農と取り組む